



編集

豊平区役所総務企画課広聴係
〒062-8612

豊平区平岸6条10丁目

☎822-2407 ㊚813-3603

とよひら元気印 (第83回)

うらべ なほこ
ト部 奈穂子 さん (40)

放課後等デイサービス「ペンガアート」代表



▲家では4歳の娘と絵を描いたり音楽を聞いたりして遊ぶ母親。娘の絵の成長を見るのが楽しみだとか。好きなバンドは「怒髪天」。



◀子どもたちは絵やオブジェなどさまざまな創作をする。写真は針金と布とコルクで作ったキリンが水を飲んでるところ。

▶昨年10月に開催したペンガアート展。みんなで作った約70枚のお面を使用したトーテムポールが来場者を迎えた。



アートセラピーで子どもたちに自信を

美園地区にある放課後等デイサービス「ペンガアート」。ト部奈穂子さんは、ここで発達障がいの子どもたちに向けた創作活動による療育「アートセラピー」を行っています。「通所している子たちは普段の生活で上手い出来ないことも多くて、自信を失いがちなんです。アートには成功も失敗ありませんし、表現したものは評価されます。それが子どもたちの自信につながれば」とト部さんはその思いを語ります。

「みんな初めから絵が描ける訳ではないし、自由に描いていと言われても戸惑ってしまうんです」。創作を教える上で工夫しているのが手順書。作業内容や順番が一目で分かるようになっていて、それに沿って作っていくと作品が完成します。「最後までやり通せると、やり方さえ分かればできるんだと自信になります。初めは絵を描くのが嫌いだった子がやり方を覚えて楽しくなって、画家になると言ってくれた時はうれしかったです」と笑います。「子どもたちが作品を完成させた時やそれを親に見せている時、親子がどちらも良い笑顔なんです。この仕事をやっていて良かったなと思いますね」

子どもたちの作品を多くの人に見てほしい

アートセラピーを始めたきっかけは、以前働いていた障がい児の入所施設での出来事。「言葉でのコミュニケーションが不得意な女の子が、年に数日しか帰らない実家の絵を「家」だと言って楽しそうに描いていたんです。その絵を見て、彼女の実家への思いに初めて気付かされました。その時、アートが彼らの気持ちを伝えるためのツールになるんじゃないかと感じたんです」。その後、ト部さんは大学でアートセラピーを学び、障がい児向けアート教室の開催などを経て、2011年から放課後等デイサービスとしてペンガアートの活動を始めました。

昨年10月にはペンガアート単独の作品展を初めて開催。「発達障がいの子たちは表現にとっても強いこだわりがあって、作品には人の心を動かす力があります。もっと多くの方たちに見てもらうため、作品展などは今後も開いていきたいです」と意欲を燃やすト部さん。これからも子どもたちと一緒に個性あふれる作品を生み出し続けてくれることでしょう。

2月下旬からグループ展に出展予定。詳細はペンガアート公式ブログ【<http://pengart.blog.fc2.com>】かフェイスブック【<http://ja-jp.facebook.com/Penguato>】で。

豊平区ホームページ「夢ひらく 花ひらく とよひらく」
<http://www.city.sapporo.jp/toyohira/>

豊平区ラジオ広報番組「豊平インフォメーション」
FMアップル76.5MHz 毎週木曜日15時～

豊平区の人口・世帯数

人口	217,240人	(+ 30)
男	101,055人	(+ 13)
女	116,185人	(+ 17)
世帯数	112,359世帯	(+ 39)

(1月1日現在。()内は前月比)

